

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.1

調査者	加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年4月1日
情報ソースの調査日	2020年4月13日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月21日
日本語タイトル	進行中のパンデミックに直面した心臓リハビリテーションのための主張
情報ソース	Yeo TJ, Wang YL, Low TT. Have a heart during the COVID-19 crisis: Making the case for cardiac rehabilitation in the face of an ongoing pandemic. Eur J Prev Cardiol.
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ
発信地域	アジア(シンガポール)
DOI	10.1177/2047487320915665
URL	https://journals.sagepub.com/doi/full/10.1177/2047487320915665?url_ver=Z39.88-2003&rft_id=ori:rid:crossref.org&rft_dat=cr_pub%20%20pubmed
要約	<ul style="list-style-type: none"> シンガポールは、2003年の壊滅的なSARSの流行から教訓を得て、シンガポールはその防御を強化し、COVID-19と戦うための多面的なアプローチを展開している。 COVID-19患者を受け入れ体制として、心臓リハ(CR)を含む外来患者の通院、臨床サービス、待機手術を延期している。 リスクを最小限にすべく、テクノロジーを利用している。 その活用により、COVID-19の発生中および発生後にCRプログラムは大幅に強化できる。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 包括的CRに役立つモバイルヘルスプラットフォームが紹介されている。 テクノロジー(Webベースのリソース、スマートフォンアプリケーション、ビデオ会議を含む)が活用されている。